

1 総論（素案）について

No.	意 見	対 応
1	今後の会議について、今日を含めてあと2回とのことだが、資料を含めた冊子全体がまだ示されていない中で、あと2回でできるのか。また、20年前、現市長が就任した時には、マニフェストとの調整などの時間を設けていたが、今回も同様に、新市長との調整のため、また、委員が考えるため、時間がほしい。	審議会については全13回と考えていたが、4月に審議会を開催し、ご意見を頂いた上で市民コメントを実施する。その後、改めて審議会を開催し、市民コメントの結果を踏まえた総合計画（素案）をお示しし、答申を頂きたいと考えている。
2	16ページの財政に関する記載の順番は、①②④③の方がよい。 また、③については、収入だけでなく、支出についても掲載し、数値はR8年度からとなっているが、現状値から掲載した方がよい。	総論における財政の推移は過去の実績のみ掲載し、今後の見込みについては基本計画（序章）に掲載することとする。
3	17ページの収入見込みについて、こういった根拠でこのような見込み値になったのか、記載があるとよいのではないか。	基本計画（序章）において、今後の見込み及び財政の見通しに関する説明を掲載する。
4	18ページには、今後、2月に実施した分野別市民懇談会の内容を追記するのか。素案の内容に影響した意見がなかったかなど、整理してもらいたい。	総論には基本構想の検討に影響を及ぼした主な内容を掲載しており、令和7年2月に実施した分野別市民懇談会などの市民参画に関する概要は資料編に掲載する。
5	21ページの課題(3)に自治会加入率の話があるが、主要課題や基本構想の中にはそのような話がなく、書き込みが足りないように感じる。	総論の主要課題「② 人と人とのつながりの中で、いつまでも暮らし続けられるまちづくり」や、基本構想の基本方向「(2) 自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち」において、つながりに関することとして内包されていると考えている。

2 基本構想（素案）について

No.	意 見	対 応
1	1ページに構成図があるが、共通理念が2ページに掲載されており、どのような位置付けなのかが分かりづらい。2ページの「3 基本構想の構成」の文章と合わせて整理して、読み手に誤解を与えないようにした方がよい。	共通理念も基本構想に位置付いていると分かるように、構成図及び説明文を変更する。
2	「基本構想を推進するために」について、基本計画上は他の5分野と同じように章立てされ、横並びとなっている一方で、ここでは5分野と上下の関係になっているように見えるが、これでよいのか。	「基本構想を推進するために」と他の5つの政策分野は上下の関係とは捉えていない。5分野にまたがるので、基本構想における図は変更しないこととする。
3	基本構想の説明の部分について、各政策分野に関する記述も必要ではないか。	ご意見として承る。

3 基本計画（素案）について

【全般事項】

No.	意 見	対 応
1	全体の成果指標について、変更した理由や目標値を設定した理由を説明してもらいたい。 また、参考実績値について、グラフと表の使い分けはどのようになっているのか。	背景、目標値の根拠をまとめた資料を作成する。グラフと表の使い分けは、見やすいよう整理する。
2	参考実績値について、それらが小柱等にどのようにつながるのか、掲載の意図が分からないものがある。改善できるのであれば、その説明を追記するか、掲載する実績値を変更するなど、見直しをしてもらいたい。	ご意見として承る。
3	参考実績値について、「文章を補完する」という視点を持って、グラフや表を用いて整理してもらいたい。	ご意見として承る。
4	第5次総合計画にあった、各章の「施策の推進方針」などは、今後追記するのか。	基本計画の各政策分野の冒頭、体系図の前に現行計画並みの文章を置く方向で検討する。
5	全体的な成果指標について、外的要因による影響が大きいものは、市の取組の成果だという因果関係が分かりづらくなるため、間接的な効果があることの説明等を追記した方がよいのではないか。	ご意見として承る。
6	各章のつながり、連携について整理されていない部分があると思うので、通読して確認してもらいたい。	全体的なつながりを確認する。

【序章】

No.	意 見	対 応
1	9ページに第5章の施策体系があるが、大柱5以降が載っていない。	資料として漏れていたもので、次回の会議では修正した資料をお示しする。
2	財政について、議題1と同様、現状値を追加した方がよい。また、グラフについては、使用するものを資料1と同じにした方がよい。	財政について、現状値を追加する。 また、グラフについては、総論には過去の推移を掲載し、序章には今後の見込みについて整理することとする。

【第1章】

No.	意 見	対 応
1	避難所の耐震化率について、100%でない場合には、参考実績値に追加してもらいたい。	避難所の耐震化率は、100%となっている。
2	成果指標について、2ページを例にすると、満足度は何をもって判断すればよいのか、定義があいまいになりやすいと思う。例えば、地域防災計画における達成率などにするとよいのではないか。	ご意見として承る。
3	4ページの中柱(3)における「現状と課題」と、同じく4ページの小柱①における消防救急体制の記載が「支援していく必要がある」と「支援します。」となっているが、統一しなくてよいのか。	「現状と課題」では施策の必要性、小柱①の説明は実施している内容での記載しているため、このような記載となっている。

【第2章】

No.	意 見	対 応
1	9ページの参考実績値である「児童手当を支給日に支給」は100%で当たり前であり、全体的に、100%が前提のものは変えた方がよい。	参考実績値を変更する。
2	7ページの成果指標「こどもの居場所づくりを推進した団体数」について、このような視点の指標はよいと思うが、「推進した団体」はどこまでを指しているか分かりづらく、また、「こどもの居場所」がこども家庭庁で定義が変わってきていることから、概念が明確になるように整理してもらいたい。	ご意見を参考に、指標の説明内容を変更する。
3	3ページの成果指標は「虐待数を増やす」というように捉えられるのではないかと。	ご意見を参考に、指標の説明内容を変更する。
4	3ページの成果指標である「高齢者の虐待通報件数」について検討する場合、児童虐待に関する指標と併せて検討した方がよいのではないかと。	ご意見を参考に、指標の説明内容を変更する。
5	3ページの指標について、通報件数という中間的な成果ではなく、虐待を減らすという最終的な成果を測れるものの方がよいのではないかと。	潜在的な虐待を発見し、改善していくことが必要であるため、現在の指標とした。
6	13ページの成果指標は100%が当たり前のことのように思われる。別の指標の方が良いのではないかと。また、参考実績値「後期高齢者医療被保険者数」について、令和3～5年が全て下一桁が0だが、正しいのか。	埼玉県が運営している後期高齢者広域連合から提示されている被保険者数で間違いない。

【第3章】

No.	意 見	対 応
1	こどもの人権について、他国と比べ、日本のこどもは自分たちの意見が政策に反映されるべきという認識が低いと、その点を踏まえた教育をしてほしい。	ご意見として承る。
2	5ページの中柱(2)について、「自立する力」は大切だと思うが、具体的な取組が少ないと思う。消費者教育など、ほかにも盛り込めないか。	ご意見を参考に、現状と課題に追記した。
3	6ページにある教育DXの記載について、何を言いたいのか伝わりづらい。読み手にとってもっと明確になるよう、書き方を整理した方がよいのではないか。	ご意見を参考に、記載内容を修正した。
4	8ページの参考実績値について、「給食の提供」は100%が当然であるので、給食に対するこどもの満足度を捉えた方がよいのではないか。	今後、こどもの満足度で捉えるよう検討する。参考実績値としては実績がないため削除する。
5	8ページの施設管理について、「検討」という表現が目立つが、書き込めるものについては「実施」と書き込んだ方がよいのではないか。	学校施設の長寿命化は長期にわたる取組となるので、5年の基本計画では「検討」に留めた。今後、明確に書き込める状況になれば検討していく。
6	13ページについて、朝霞には立派な陸上競技場があるが、公認競技場にはなっていない。公認にすることでコストはかかるかもしれないが、「利用しやすい施設」という意味では、検討してもよいのではないか。	ご意見として承る。
7	14ページの小柱③、学校との連携については、博物館だけではなく、図書館や公民館など、生涯学習分野全体で取り組む必要があると思うので、そのことを記載した方がよいのではないか。	大柱2「生涯学習」の中柱2「学びを支える環境の充実」、小柱1「学習活動の支援・充実」に記載した。

【第4章】

No.	意 見	対 応
1	第4章は環境に関する章だが、「みどり」に係る指標がないことが気になる。	「みどり」については第5章「都市基盤・産業振興」の大柱3「みどり・景観」に記載している。
2	1ページの大柱3の名称が中柱レベルに感じるので、別の表現にした方がよいのではないか。	ご意見として承る。
3	3ページの関連する個別計画について、「低炭素・循環型社会の推進」に関する計画があったと思うが、ここに掲載しないのか。	「関連する個別計画等」に追記する。
4	3ページに「CO2」という表現があるが、「2」は小さいのが正しいのではないか。	正しい表記に修正する。
5	6ページの中柱(2)の成果指標は、中柱(1)に関するものになっているのではないか。	指標を見直し、「ごみ焼却処理施設の稼働率」に変更する。
6	8ページに小柱②が追加されているが、中柱の名称からすると、小柱の①と②の順番は逆にした方がよいのではないか。 また、説明文について、国では幼児期から高齢期まで、全世代型の消費者教育という考えがあるため、そのような表現を追加した方がよいのではないか。	中柱1の内容全般を修正する。
7	9ページに4市共用火葬場のことが記載されているが、現在の進捗はどのようになっているか。	今年度に基本構想を策定した。来年度は基本計画を策定する予定である。
8	15ページの「芸術文化展延べ参加者数」について第10回資料と過去の数値が変更となっているが、こういった理由か。	数値が誤っていたため、正しい数値に修正した。

【第5章】

No.	意 見	対 応
1	5ページの中柱(2)について、小柱との関係が論理的ではない。また、成果指標について、設定した理由が分からない。	ロジックについて、確認する。成果指標については、現在、市が行っている取組手法を反映して、そのような指標としている。
2	7ページの参考実績値で、各年度「検討」となっているものは、掲載する意味はあるのか。	内容を見直し、修正する。
3	16ページの成果指標について、適切な管理が行われていない空き家の情報提供に対する解決割合と限定的なので、例えば、空き家のワンストップの件数にするの はどうか。	現在、市が行っている取組手法を反映して、そのような指標としている。
4	18ページの参考実績値として経常収支比率があるが、100を超えていることは健全なのか。	100を超えていることは健全な状態である。
5	21ページの中柱(2)の「現状と課題」に小規模事業者が追記されたが、中柱の名称は追記しないのか。	中柱の名称も併せて追記する。
6	22ページの企業誘致に関する成果指標として情報共有回数とあるが、「それによってどのように変わるのか」という視点で指標を設定した方がよいのではない か。	「企業誘致件数」に変更する。
7	22ページの都市農業に関する成果指標である「認定農業者数」について、今は27人しかいないのか。 また、認定されるための基準はあるのか。	認定農業者制度は、農業者が市の農業経営基盤強化促進基本構想に示された目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定するもの。 以下の要件を満たす27人が認定農業者として認定されている。 ・市の基本構想に照らし適切なものであるか。 ・農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために適切なものであるか。 ・達成される見込みが確実であるか。
8	23ページに市民農園のことが記載されているが、市民農園の待機者が多いと聞く。遊休農地を活用し、市民農園を増やしてはどうか。	ご意見として承る。

【第6章】

No.	意 見	対 応
1	前回の総合計画審議会において、それぞれの課が所管する審議会に施策体系に関する意見聴取を行うべきという話をして、庁内で確認するとのことだったが、その後どうなったか。	庁内に確認したところ、審議会に確認している課もあった。それぞれの審議会が審議すべき事項がある流れの中で、総合計画を踏まえているかを個別に審議する会を開催するのは難しいが、今後も可能な範囲で意見聴取をしていただきたいと考えている。
2	2ページの小柱④について、国県等との連携だけではなく、市民団体等との連携も重要ではないか。	民間団体との協働も視野に入れた記載内容に修正する。
3	3ページの参考実績値について、各年度500で動きがないが、正しいのか。また、2ページの成果指標と3ページの参考実績値の人数は、別のものなのか。	参考実績値が誤っていたため、修正する。 2ページと3ページの人数は同じものである。
4	4ページの成果指標である「多文化サポーターの登録者数」について、「活動件数」などの方がよいのではないか。	活動人数とすると限られるので、すそ野を広げる趣旨から登録者数としている。
5	6ページの「市民参画」について、文章には単なる「参加」のことしか書かれておらず、自治基本条例のことなどがなくなっている。	条例制定よりは参画に重きを置いた内容となっているが、記載内容について修正する。
6	7ページの成果指標における目標値が、前回と比べて下方修正されている理由は何か。	再検討の結果、そのように見直している。
7	8ページの成果指標について、「評価3、4の割合」が100%としていたものから、「4段階評価の平均」にしたのはどのような理由か。	再検討の結果、そのように見直している。
8	11ページの参考実績値について、基幹システム稼働率の100%の成果目標ではなく、デジタル化すべきものの達成率にした方がよいのではないか。	実施してきた施策の参考実績値として記載できる適当なものがないため、削除する。
9	11ページの成果指標について、今の指標もよいと思うが、職員の働きがいや満足度などの指標としてもよいのではないか。	ご意見として承る。
10	12ページの成果指標について、目標値を上方修正した理由は何か。	再検討の結果、そのように見直している。

《第14回総合計画策定委員会における意見及び対応》

1 第6次総合計画（素案）について

【総論】

No.	意 見	対応
1	2ページの「(1)計画策定の趣旨」において、「地方自治法による総合計画策定の義務付けがなくなったが、朝霞市は総合計画条例を制定し、策定を続けている」という経緯を記載してはどうか。	第5次総合計画を参考に、これまでの経緯を記載する。
2	7ページ、社会の潮流の⑤の見出しに「ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)」とあるが、人権の尊重など、日本語で表現した方がわかりやすいのではないか。	意見を踏まえ、見出しを「多様性を認め合う社会の形成と人権の尊重」に変更する。
3	7ページ、社会の潮流の⑥に災害に関する記載があるが、災害に関しては市民の関心や要望も大きい分野であるため、もう少し記載内容を充実するとともに、記載する順番を検討してもよいのではないか。	全体のバランスも見ながら災害に関する記載を見直す。また順番を3番目に変更するとともに、以降の番号を1つ繰り下げる。

【資料編】

No.	意 見	対応
1	180ページに「(12)市民団体、事業者等との意見交換」があるが、実施期間の終期である令和6年8月3日以降に実施した分を掲載してもよいのではないか。	策定委員会終了後、令和7年3月31日までの実施状況を各課に確認し、資料に反映した。
2	202ページの【避難場所図】について、地域防災計画と表現等を合わせた方がよいのではないか。	「避難場所」としていた表現を、地域防災計画の内容も踏まえ、「指定避難場所」に変更した。
3	内容の読みとりにくいカタカナ英語は、用語解説に入れた方がよいのではないか。	内容が読みとりにくいと考えた言葉を、用語解説に追加した。